

図書館だより

令和3年12月21日発行

第7号

清水高校図書館

“きん”の正月料理

あと数週間でお正月です。皆さんはどのように過ごしますか。時間がある方は正月料理を作ってみてはいかがでしょうか。今回、私は『おめでとうの正月料理』（著・服部津貴子 監修・服部幸應 出版・岩崎書店）という本を紹介いたします。この本は、皆さんが知っている正月料理からあまり知らないものまで20種類の正月料理の作り方が分かりやすく紹介されています。その中から2つの料理を紹介いたします。

1つ目は、「きんかんのみつ煮」という料理です。これは、きんかんを水と砂糖で煮た料理です。きんかんは果皮にビタミンCが豊富で、生で食べてもおいしいですが、砂糖づけやみつ煮にしてもおいしく保存も効くようになります。また、風邪の引きはじめや咳止めなどにも効果が期待できます。

2つ目は、「きんとんパイ」という料理です。これは、パイシートで栗きんとんを挟み、オーブンで焼いた料理です。これは、余ってしまった栗きんとんでも作れるので手間がかかりません。正月らしく三方に飾ってみても面白いです。このほかにもたくさんの料理が紹介されています。皆さんも正月料理を作ってみてはいかがでしょうか。 (神谷)

冬休み前に図書館へ

もうすぐ冬休みです。冬休みはアルバイトをしたり課題に追われたりする人が大半だと思います。また、3年生は自動車学校に行ったり受験勉強をしたり、中には試験本番を迎える人もいて、意外とゆっくりと過ごせないと思います。そのため、息抜きとして好きなドラマをみたりゲームをしたりすると思いますが、私は読書をおすすめします。冬休みになる前に学校の図書館に来てください。24日(金)まで冬の長期貸出を行っています。1人5冊まで借りられるので、冬休みの息抜き用にぜひ本を借りてください。返却日は1月19日(水)なので、ゆっくり読書を楽しめます。また、図書館は常に静かで落ち着いているので、勉強するにはもってこいの場所です。受験を控えている3年生は放課後に来館してみてください。また、今まで来館をしたことがない人もいるかもしれないので、卒業前に1度立ち寄って本を借りに来てください。 (橋本)



熾烈な頭脳戦

今回は『ノーゲーム・ノーライフ』（著・榎宮祐 出版・KADOKAWA）という小説を紹介いたします。

時は現代、あらゆるゲームに「 」(空白)というプレイヤーがいました。そのプレイヤーはゲームの対戦履歴において、敗北が一切ない謎の存在だったが、その正体はニートで引きこもりの兄妹でした。その兄妹、空と白の2人は、世界を「クソゲー」だと思っていましたが、ある日、神を名乗る少年「テト」により、すべてがゲームで決まる世界「ディスボード」に異世界召喚されてしまいます。その世界では、種族が順位付けされており、空と白は最下位の人類種として召喚されてしまいます。この作品の最もおもしろい点は、空と白が緻密な計算で様々なゲームで勝利を収めていくところです。一度読めば、次はどのようにして2人が勝つのか楽しみで仕方なくなります。ぜひ読んでみてください。 (堀川)



クリスマスといえば…

皆さんは、クリスマスといえば何を思い浮かべますか。ツリーやケーキ、プレゼントなど、人によって色々なものを思い浮かべるとと思います。その中でも、私はクリスマス・イヴの夜が舞台になっている『クリスマスキャロル』（著・チャールズ・ディケンズ 出版・ポプラ社）を思い浮かべます。とても有名な作品で、ディズニーの映画でも取り上げられているので、聞いたことがある人も多いのではないのでしょうか。

お金に対する執着が強く、冷酷で無慈悲だといわれるスクルージという男が、クリスマス・イヴの夜に、三人の幽霊と共に過去・現在・未来の旅をした結果、優しく慈悲深い男へと変わっていく物語です。

小説自体は1843年にイギリスで発行された古い文学ではありますが、今でも舞台化や映画化などが多くされているうえ、クリスマスキャロルを題材とした作品は数多くあるので、世界に愛されている作品だと言えると思います。

図書室にも1冊、クリスマスキャロルの本が置いてあります。クリスマスが間近に迫っているこの季節に読むことで臨場感が味わえると思います。ぜひ読んでみてください。 (山本)

少年とゆきだるま

大雪の日、一人の少年が僕を一人の少年が作りました。

今日は風が強い日です。少年も寒そうです。

今日は晴天です。少年は暖かそう。僕も暖かいです。

今日は桜が散りました。少年は元気になりました。僕はこの世を去りました。

図書館員のつづやき

17日は合唱祭がありました。1、2年次は初めての合唱祭で、3年次は最後の合唱祭でした。例年は清水町の文化ホールでの開催でしたが、今年はコロナの影響もあり、本校体育館での開催でした。3年次はこれで最後の行事で、残すは卒業式です。卒業まで残り日数が少ないので、残りの高校生活を楽しみたいと思います。 (小松)

編集後記

今回は、冬をテーマに作りました。また、裏面に3年次の担任の先生にアンケートが掲載してあります。3年次の図書館だよりの制作が最後なので、ぜひ、読んでください。 (小松)

「てやんでい！べらぼうめ！」 3年A組 餌取和臣先生

日本もいいけれど、ビートルズに、マイケルジャクソンに心動かされるように、有名な外国文学にもぜひ触れてみてほしい。

私の思い出の本は、小学生の時に読んだ子ども向けの冒険小説、『宝島』（著・ロバート・ルイス・スティーブenson）です。発表から現在まで、様々な媒体で題材となっている作品です。怪しげな大人や海賊一味と、主人公の少年のやりとりひとつひとつにドキドキしました。

中学生のときに読んだのは『変身』（著・フランツ・カフカ）です。トイレで用を足す度に、知らない単語を辞書で調べながら読み進めました。難しい本を読んで、ちょっと背伸びがしたかったんだと思います。

高校の時には『スタンド・バイ・ミー』（著・スティーブン・キング）を読みました。映画が大好きだったので読んでみると、以外とホラーテイストなのに驚きました。キングはそもそもホラー作家だったことも高校生で知りました。

大学では『カラマーゾフの兄弟』（著・フョードル・ドストエフスキー）にはまりました。さまざまなテーマがちりばめられていて読んでいて飽きませんでした。

名作はたくさんあります。みなさんもよい本と出会えたらいいですね。



「廊下を颯々と走り抜ける」 3年C組 松下和子先生

作品名：『嫌われる勇気～自己啓発の源流「アドラー」の教え』

著者：岸見一郎／古賀史健

出版社：ダイヤモンド社

人は他者との関係の中で生きています。そのため、自分が安心して平穏に生きるためには、人と良い関係を築かなければなりません。良い関係を築こうと努めると、人の言動がどうしても気になります。自分に関係がなくても、自分の方をチラッとでも見られたら、何か自分の話をしているのではないか、自分にとって嫌なことを言っているのではないか、と疑心暗鬼になってしまいます。このような思いは、実は自分が自分の思い通りに行動ができず、自信を失い、心が弱っているときに、特に強く感じます。

私も以前、体調不良と共に上手く考えられず、やること全てが裏目に出て、人との信頼関係を崩したことがあります。絶望し、他者の言動全てが怖くて、自分の命の存在価値も見失いました。そんなとき、この『嫌われる勇気』に出会ったのです。なんと衝撃的な作品名でしょう。人が10人いれば、必ず2人は自分を理由なく嫌う人がいて、2人は自分が素のままでも好いてくれると言います。しかし、誰からも嫌われたいとは思いません。だから、作品名に興味を感じてこの本を読み始めました。

人との関係に自信を失ったとき、ぜひ読んでみてください。自信を取り戻せるかもしれません。



「は～い。コメタ～ン。」

3年B組

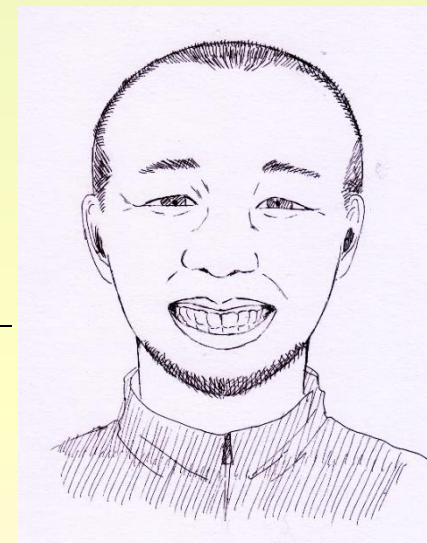
田中秀治先生

作品名：『サッカー止める蹴る解剖図鑑』

著者：風間八宏

出版社：エクスナレッジ

サッカーの基本動作であるボールを止める、蹴る、運ぶについてイラスト入りで解説しています。ボールのどの場所を、足のどの位置で止めたり蹴ったりすれば良いのかが、とてもわかりやすく図解されています。基本動作以外にも、マークしてくる相手を出し抜くための工夫や、相手の動き（矢印）を見て逆をつくための方法が書かれています。何となくやっていたサッカーが、言葉とイラストで整理され、プレイの精度が向上します。いかにして相手を欺き逆を取るか、これができるればサッカーの面白さを実感できます。サッカーをやり始めた小学生、中学生時代にこの本に出会えていれば、もっとサッカーが上達できたと感じます。すでにサッカーをしている人にも、これからサッカーをしてみようかなと思っている人にも、サッカーを見るのが好きな人にもおすすめの1冊。著者は元日本代表で、川崎フロンターレや名古屋グランパスの監督を歴任した風間八宏さんです。



私たちの先生のおすすめ本！

今年度の卒業担任の先生方におすすめの本を聞いてみました。

3A担任の餌取先生は1つではなく、様々な英語の本を紹介してくれました。授業内でもハマった芸人さんができたら必ず紹介してくれるので、多趣味で好奇心旺盛だということを改めて感じました。3B担任の田中先生は、サッカーの本について書いてくれました。サッカー部の顧問もやっているため、その実力はピカイチです。最後に3C担任の松下先生は、対人関係に悩む人々へ向けて書かれているアドラー心理学の本を紹介してくれました。いつもいろいろなことを考えている先生なので、そういうところにもこの本の内容が生きているのではないのでしょうか。

各担任の似顔絵は美術部に描いてもらいました。アンケート内容も似顔絵もお楽しみください。

(齋藤・堀)